

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	職員は、ご入居者の個々の性格、認知症レベルは把握はしているが、他の業務に目がいき、積極にご入居者と関わる事がまだまだ少ない。そのため、居室に引きこもり孤立しがちな方もおられる。	職員は、前ご入居者と積極的に関わり、居室での引きこもりをなくし、QOLの向上を支援する。	1. 天気の良い日は、散歩や外気浴を行い、ご入居者同士の関わりを増やす。 2. 居室に引きこもりがちなご入居者には、レクやお手伝いをしてもらい、役割や楽しみを持っていただく。	12ヶ月
2	25	センター方式のシートを使用し、現状の把握に努めてはいるが、職員は記録の記入がまだまだ未熟であり、観察も不十分である。	職員は、ご入居者に対する日々の観察を充分に行い、それをシートに的確に記録する。	1. 職員に対して、観察すべきポイントを指導し、毎日の観察を確実に行う。 2. 職員に対して、具体的な記録の仕方を指導し、毎日の記録を確実に行う。	12ヶ月
3	29	地域資源を把握しているが、限定的な協働にとどまっている。	地域と関わる範囲を増やし、ご入居者が「安全で豊かな暮らしを楽しむこと」を増やす。	1. 地域の保育園や学童保育、学校等と関係を築き、交流する機会を持つ。	12ヶ月
4	47	服薬に関するリスク管理ができておらず、飲ませ忘れや服薬のミス等の軽微な事故が多い。	全職員がご入居者が服用している薬の効能・副作用等の知識を持ち、服薬ミスは人命に関わるということを周知する。	1. 全職員を対象に2018.10月度のケアカンファレンスにて、服薬に関する勉強会を行なう。 2. 服薬の管理方法および、確認作業を再確認する。また、些細なミスでもヒヤリハットの報告を行い全職員で共有する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。